

本号執筆者紹介

特別寄稿

井藤半彌	一橋大学名誉教授 経済学博士	明星大学教授
岡野鑑記	経済学博士	和光大学教授
高木壽一	慶応義塾大学名誉 教授 経済学博士	流通大学教授

本学関係

剣持通夫	経済学博士	千葉敬愛経済大学教授
難波勝二	東洋大学名誉教授	千葉敬愛経済大学教授
小倉倉一	農学博士	千葉敬愛経済大学教授
塩谷安夫		千葉敬愛経済大学教授

(ABC順)

前号目次

論説

国際通貨体制の展望	難波勝二 (1)
社会開発への一考察	山野井梅三 (20)
国際通貨制度と平価変更	
——円切上げに関連して——	原 純子 (35)
最低賃金制の生成条件と効果 (下)	
——1909年法を中心に——	中村智一郎 (57)
マーケティング方法論	
——統合理論とシステムズ・アプローチ	石岡雅憲 (77)
アンガージュマン文学の誕生と没落	沢 護 (96)

紹介

J・カルミッチェル著『カール・マルクス』	別府芳雄 (114)
ヘルマン・ミュールハウス著『学説および 判例における過失—とくに道路交通法を 中心として—』	花井哲也 (120)